

茶病虫害防除情報

【第 16 号】

令和 2 年 9 月 3 日

鹿児島県経済連・肥料農業課

台風、秋雨による多雨・多湿の気象が続き、病害多発化の恐れ

秋芽生育期の病害特別防除対策

厳しい市況状況でのお茶づくりご苦労様でした。蒸し暑い残暑の中来年産茶に向け秋の茶園管理に努められていることと思います。今年の秋芽生育期の 8 月前中は猛暑の晴天が続きましたが、台風 8 号が襲来した 8 月 24-25 日以降は比較的雨天日が多くなり、9 月に入り台風 9 号も接近北上し、曇雨天・多湿の気象条件が続いています。更に猛烈な台風 10 号も襲来が予想されます。茶園は概ね秋芽生育期の後半で、罹病性品種の「やぶきた」などは炭疽病、網もち病などが感染しやすい状態で、今後多発生化することが懸念されます。特に輪斑病、新梢枯死症は台風による暴風雨での感染が懸念されます。また、この時期の多雨・多湿の気象条件では、最近発生が増加傾向の網もち病の多発生の恐れがありますので、注意しましょう。今年も更新園が多く、秋芽の生育は様々な状態ですので、芽の生育状態と降雨状況を勘案し、降雨の合間台風前などに、早急に適切な防除を進めましょう。

★ 秋芽生育後半の病害の発生と防除法

炭疽病は、二・三番茶の発病葉から伝染し、秋芽の萌芽-4・5 葉期頃迄感染します。伝染源病葉は、三番茶期の発病が多かったため多い状況で、これからも降雨が続くと感染が多くなりますので今後多発生する恐れがあります。薬剤防除は秋芽生育期に一般に予防剤と治療剤 DMI 剤の順に体系で防除し、現在 2 回目の治療剤 DMI 剤(インダー オリーワン)の散布時期か、終了する状態と思われます。現在防除を実施していないか、遅れている茶園ではこれまでの降雨などで、感染がかなり進んでいることも考えられます。このような状況の場合は治療剤を早急に散布し防除を進めてください。今後も雨天傾向が暫らく続く気象予報ですので、特に前報でお知らせした普及情報のダニール 1000 とインダーフオアブルまたはオリーワンフオアブルを混用して散布する新防除法は極めて有効と思われます。

輪斑病は一般に摘採・整枝時の切口から感染しますが、台風による暴風雨による傷口からも感染します。また、**新梢枯死症**は葉柄の傷口などから感染しますので、この時期の台風による暴風雨後に発生が多くなります。このため台風直前または直後の防除が有効です。

網もち病は秋芽が生育し、新芽が繁茂する生育後半(3-5 葉期)の 8 月下~9 月初旬頃雨天・多湿条件が続くと菌(担孢子)が飛散して感染します。また、秋芽の生育が遅く 8 月下旬から 9 月中旬になるような園で感染しやすいです。感染後約 2 ヶ月位の潜伏期を経て葉裏に白い網目状病斑を発病します。11 月頃発病に気づいても対処法はありません。今年は多発しやすい気象条件で、注意が必要と思われます。DMI 剤などで炭疽病と同時防除もできますが、これまで発生の多い地域や園ではさらに 4-5 葉期頃に銅剤を追加散布し、防除します。

★ 具体的な今後の病害薬剤防除方法

対象病害・秋芽状況・防除状況	具体的薬剤防除の方法
<p>炭疽病 新梢枯死症 網もち病 秋芽生育期 (防除未実施園) (降雨前 感染前対策)</p> <p>輪斑病、新梢枯死症 (台風対策 発生の恐れがある園)</p>	<p>慣行(栽培暦)防除法 (早急に実施)</p> <p>1回目(1葉期) ベフトー水和剤 500倍 又は ダコニール 1000 700~1000倍 フロンサイト SC 2000倍</p> <p>2回目(3~4葉期) インダーフロアブル 5000~8000倍 又は オンリーワンフロアブル 2000~3000倍</p> <p>台風襲来の直前・直後防除 (2~4葉期)</p> <p>アミスター 20フロアブル 2000倍 又は ナリア WDG 2000倍 ファンタジスタ顆粒水和剤 3000倍 ダコニール 1000 700~1000倍 フロンサイト SC 2000倍 ニマイバール水和剤 1000~1500倍 テブロスフロアブル 1000倍 など</p>
<p>炭疽病 新梢枯死症 網もち病 秋芽 2~4葉期 防除未実施園 (降雨持続 感染後の対策)</p>	<p>治療剤先発防除法(既に感染状態のため治療剤を最初に散布)</p> <p>1回目(2~3葉期) インダーフロアブル 5000~8000倍 又は オンリーワンフロアブル 2000~3000倍</p> <p>2回目(3~4葉期) ベフトー水和剤 500倍 ダコニール 1000 700~1000倍</p> <p>予防剤・治療剤混用散布法 (新普及情報)</p> <p>2~4葉期 ダコニール 1000 700~1000倍 + インダーフロアブル 5000~8000倍 又は オンリーワンフロアブル 2000~3000倍混用散布</p>
<p>網もち病 (補完対策) 秋芽 3~4葉期 秋芽生育の遅い園</p> <p>多発生の恐れがある園 秋芽 4~5葉期</p>	<p>慣行防除法(栽培暦) 確実な実施</p> <p>2回目(3~4葉期) インダーフロアブル 5000~8000倍 又は オンリーワンフロアブル 2000~3000倍</p> <p>慣行防除後さらに 4~5葉期に銅水和剤を追加散布</p> <p>銅水和剤・・・クプロシールド 1000倍 コサイト 3000 1000倍 Zボルトー 400~500倍 フジトールフロアブル 500倍 ベフトー水和剤 500~700倍 ドイボルトーA 500倍 など</p>